

就職対策講座 敬語（謙譲語） 練習問題①

一、 次の傍線部を謙譲語（一部は丁重語）に改めましょう。

問1 （来客に）部長がそのように言っております。

問2 先生、明日の3時にそちらへ行きます。よろしいですか。

問3 これを見るのは初めてです。

問4 ではお客様のお荷物は、明日の18時に届けますね。

問5 それについては知っております。

問6 私は山田太郎といいます。（丁重語）

問7 そろそろ時間ですので、帰ります。

問8 お客様、お荷物を持ちます。

問9 先生のお書きになった論文を読みました。

問10 田中さんに初めて会ったのは、10年前でした。

【↓答えは次のページ】

【解答例】

問1 申し上げて 問2 うかがいます 問3 拝見する 問4 お届けします。  
問5 存じ上げて 問6 申します 問7 おいとまします 問8 お持ちします  
問9 拝読しました 問10 お目にかかった／お会いした

【ポイント】

※謙譲語は、動作の主体（自分や自分側）を下げて、「その動作を受ける相手」に対する敬意を表します。

- (例) 問1 (来客)に) 部長がそのように申し上げておりました。(「来客」に対する敬意)  
問2 先生、明日の3時にそちらへうかがいます(「先生」に対する敬意)  
問8 お客様、お荷物をお持ちします。(「お客様」に対する敬意)  
問9 先生のお書きになった論文を拝読しました。(「先生」に対する敬意)  
問10 田中さんに初めてお目にかかったのは、(「田中さん」に対する敬意)

※謙譲語には、①「うかがう」「申し上げる」「いただく」などの謙譲語に言い換える場合と、②通常の語を「お／ご～する」という形に言い換えて表す場合があります。

(例)「言う」→「申し上げる」 「伝える」→「お伝えする」

[主な謙譲語一覧] ( )内は通常の言い方

申し上げる(言う)	うかがう(行く・聞く)	いただく(食べる・飲む)
存じ上げる(知っている)		拝見する(見る)
申し伝える(伝える)	拝読する(読む)	おいとまする(帰る)
いただく(もらう)	いたす(する)	お目にかかる(会う)

「お／ご～する」：お届けする、お持ちする、ご案内する、ご報告する…等

※形は謙譲語と似ていますが、「その動作を受ける相手」に対する敬意ではなく、単に話し相手(聞き手)に対して丁重に述べる形を「丁重語」と呼び、区別します。

[丁重語：申す・参る・存じる・いたす・おる 等]

(例) 問6 私は山田太郎と申します。

明日、親戚の家へ参りますので、お休みをいただけますか。

ご多忙とは存じますが、なにとぞよろしく願いいたします。